

事業評価シート

番号 1040065 - 1

【1.基本情報】

事業名	小児インフルエンザ予防接種費用助成			
担当部名	保健衛生部		担当課名	感染症対策課
未来地図政策	安心につながる医療環境の充実		政策コード	2 - 2 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体
実施期間	平成28 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	小児インフルエンザ予防接種実施要領

【2.事業概要】

事業の目的	インフルエンザ脳症や肺炎などを併発し、特に重症化する傾向にある小学校未就学児について、予防接種費用の一部助成を行う。小学校未就学児については子育て世代の負担軽減も図る。		
事業の内容	市内の委託医療機関にて、10月15日から翌年1月31日まで実施。かかりつけ医が市外の場合は、岐阜市予防接種費用助成金交付要綱に基づき、接種費用を助成する。		
事業の対象	何を	インフルエンザ予防接種費用	
	誰に (対象者・対象者数)	市に住民登録のある生後6か月から小学校就学前までの児であって、接種を希望する者	
	どのくらい (具体的 数値で)	期間中2回まで、1回1,000円を助成する	
令和2年度 (実施内容)	接種者数 1回目 11,770人、2回目 10,766人		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	697	22	748	22	715	22
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	697	22	748	22	715	22

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,675	24,158	24,412
直接事業費の主な内訳 項目	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,675	24,158	24,412
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	20,675	24,158	24,412

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	21,372	24,906	25,127

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	21,372	24,906	25,127

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	生後6か月から小学校就学前までの児	生後6か月から小学校就学前までの児	生後6か月から小学校就学前までの児
受益者数	20,675	22,428	22,536
受益者負担額(千円)	20,675	24,158	22,536
受益者負担率(%)	96.7%	97.0%	89.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,034	1,110	1,115

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	勧奨	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20,730	20,180	19,830
実績値	10,338	11,214	11,268

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	インフルエンザ予防接種の接種率	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	50	50	50
実績値	49.9	55.6	56.8
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>小学校未就学児は、インフルエンザ脳症や肺炎などを併発し、特に重症化する傾向にある</p> <p>国又は県による費用助成制度はない。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>費用の一部助成により、子育て世代の負担軽減を図る。</p> <p>国又は県による費用助成制度はない。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	低	<p>予防接種率は50%を推移しており、助成制度の利用は周知できていると思われる。</p> <p>インフルエンザ脳症や肺炎の発症抑制については、流行状況などに左右され評価できない。</p>
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	接種費用の一部助成(概ね2~3割程度)の助成額であり、子育て世代の経済的負担軽減として適切である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	インフルエンザに感染した場合の個人の重症化を防ぎ、特に6歳以下の乳幼児に発生頻度の高いインフルエンザ脳症による死亡又は後遺症を予防するために、また子育て世代の負担軽減を図ることで、ワクチン接種をうけやすい環境を整備し、幼稚園及び保育所でのまん延を防止するため、事業を継続する。

事業評価シート

番号 1040065 - 2

【1.基本情報】

事業名	風しんワクチン接種費用助成				
担当部名	保健衛生部		担当課名	感染症対策課	
未来地図政策	安心につながる医療環境の充実		政策コード	2 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	平成25 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市風しんワクチン接種費用助成金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	全国的な風しんの流行を踏まえ、対象者の風しん抗体価検査(※)をし、抗体価が低い(免疫がない)人に予防接種を促し、先天性風疹症候群(妊婦が感染すると胎児に出る難聴や心疾患などの障害)の発生を防止する。				
事業の内容	対象者に、抗体検査を無料で受けてもらい、基準値以下の場合は、風しん又は麻しん風しん予防接種予診票を交付し、市内の協力医療機関で予防接種した後に、予防接種費用を助成する。				
事業の対象	何を	風しん又は麻しん風しん予防接種費用			
	誰に (対象者・対象者数)	接種日において市内に住所を有する者のうち、風しん抗体検査をした者で、①②に該当する者の風しん又は麻しん風しん予防接種費用を助成する。 ①妊娠を予定または希望している女性で抗体価がHI法で16倍以下(EIA法で8.0未満)の者 ②抗体価が低い妊婦の配偶者及び同居家族で、抗体価がHI法で16倍以下(EIA法で8.0未満)の者			
	どのくらい (具体的 数値で)	1回につき、接種費用の全額を助成する。			
令和2年度 (実施内容)	被接種者81人に対し、826,766円の助成を行った。				

【3.支出(行政コスト)】

(1) 人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		390	12
パートタイム(嘱託職員)	247	24	250	24	0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	247	24	250	24	390	12

(2) 物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,616	1,462	827
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	予防接種費用	2,616	1,462
			827
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	2,616	1,462	827

(3) 総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,863	1,712	1,217

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,863	1,712	1,217

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	風しん(MR)ワクチン接種者	風しん(MR)ワクチン接種者	風しん(MR)ワクチン接種者
受益者数	281	150	81
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	10,189	11,411	15,025

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ワクチン費用助成者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	160	160	160
実績値	280	150	81

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	先天性風疹症候群	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	風しん患者のほとんどは、公的に予防接種の機会のなかった40～60歳の男性である。
		先天性風疹症候群防止のために、予防接種の機会がなかった者のうち妊娠を希望する者等に助成を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	風しんワクチンにより、先天性風疹症候群の発生が防止される。また、妊娠中の不安が軽減される。
		国又は県による費用助成制度はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	本市では先天性風疹症候群0人を維持している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	全額助成のため、経済的負担による未接種を防ぐことができるが、予防接種歴があり抗体価が低い妊娠を希望する女性は助成対象とならず、全額自己負担で予防接種を実施している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	風しん排除国となるまで、事業を継続する。

事業評価シート

番号 1040065 - 3

【1.基本情報】

事業名	感染症動向調査及び還元事業			
担当部名	保健衛生部		担当課名	感染症対策課
未来地図政策	安心につながる医療環境の充実		政策コード	2 - 2 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	岐阜市医師会
実施期間	平成14 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	感染症発生状況等をリアルタイムに把握し、分析した情報を市民及び関係機関に提供することにより、市民は自己防衛処置をとり、その結果まん延防止につながる。また、医療機関は適正な医療提供ができ、教育機関及び各種施設は、適正な対応が可能となる。			
事業の内容	岐阜市内及び近隣のインフルエンザ、麻疹等感染性が強い感染症の発生状況等を医療機関からリアルタイムに集約し、岐阜県(保健環境研究所)に報告。岐阜県が集約した県内の状況を、市医師会、教育委員会、市民健康センター等に情報提供。また、市ホームページに感染症の発生情報等を掲示し、感染症のまん延防止を図る。この事業の一部を岐阜市医師会に委託する。			
事業の対象	何を	感染症発生状況の情報収集、分析、還元		
	誰に (対象者・対象者数)	市民(特に教育、社会福祉施設の関係者)及び医療機関		
	どのくらい (具体的 数値で)	毎日		
令和2年度 (実施内容)	医療機関より患者発生状況の報告を受け、県内の感染症発生状況等を、市医師会、教育委員会、市民健康センター等に情報提供するとともに、市ホームページに感染症の発生情報等を掲載した。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	761	24	816	24	780	24
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	761	24	816	24	780	24

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		350	350	350
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
業務委託	350	350	350	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	350	350	350	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,111	1,166	1,130

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,111	1,166	1,130

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民及び医療機関	市民及び医療機関	市民及び医療機関
受益者数	410,297	408,109	406,407
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3	3	3

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	病原体検査数	単位	検体
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	348	348	348
実績値	96	74	5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	還元情報提供日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	365	366	365
実績値	365	366	365
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	インフルエンザ、麻しんの等の感染症発生状況を可能な限り早急に把握し、その情報を市民に提供し、感染の拡大を防止する必要がある。 岐阜市内の感染症発生動向については、市で実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	医師や行政等の関係機関による流行状況、発生動向の評価を実施している。 市医師会と連携して事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	低	利用回数などからの評価はしていない。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	利用者について把握していない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	感染症発生状況をリアルタイムに把握し、まん延防止につなげるため事業を継続する。

事業評価シート

番号 1040065 4

【1.基本情報】

事業名	エイズ対策促進事業				
担当部名	保健衛生部		担当課名	感染症対策課	
未来地図政策	安心につながる医療環境の充実		政策コード	2 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	平成12 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針 エイズ対策促進事業実施要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	エイズ及びHIV感染症に対する偏見や差別の払拭、理解や支援について啓発する。				
事業の内容	小・中学校、高等学校及び各種専門学校等から提出されたレッドリボンで装飾されたフラッグを世界エイズデーの前後3週間ほど長良橋通りの神田町付近に掲示する。				
事業の対象	何を	レッドリボンやフラッグ等を支給し、作成されたレッドリボンフラッグを神田町通りに掲示する。			
	誰に (対象者・対象者数)	小・中学校、高等学校及び各種専門学校の児童生徒、保護者。学校関係者。			
	どのくらい (具体的 の数値で)	小学校48校、中学校27校、高等学校・各種専門学校・大学等40校			
令和2年度 (実施内容)	レッドリボンフラッグ8枚 レッドリボンフラッグ作成への参加者数 2,520人				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	317	10	340	10	325	10
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	317	10	340	10	325	10

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		461	383	269
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
エイズ対策促進事業	461	383	269	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	461	383	269	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	778	723	594

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	230	190	134
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	230	190	134

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	548	533	460

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	358,790	357,945	357,945
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	1	1

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	レッドリボンフラッグ作成枚数	単位	枚
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	10	10
実績値	15	12	8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	エイズフラッグ作成参加団体数	単位	団体
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	15	15	15
実績値	15	12	8
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>個人個人の行動がHIVに感染する危険性の低いものに又は無いものに変化させるため、また、HIV感染症に対する偏見や差別を払拭するために必要。</p> <p>国の指針に地方公共団体の役割として、普及啓発を行うことが示されている。国庫補助事業(1／2補助)である。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>レッドリボンフラッグを作成した児童生徒、保護者、学校関係者の他、掲示されたレッドリボンフラッグを見た者に対して偏見や差別の払拭について啓発している。</p> <p>国の指針に地方公共団体の役割として、普及啓発を行うことが示されている。国庫補助事業(1／2補助)である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	<p>国の指針に地方公共団体の役割として、普及啓発を行うことが示されている。</p>
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	<p>国の指針に地方公共団体の役割として、普及啓発を行うことが示されている。</p>
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	<p>偏見や差別の払拭のために、若い世代へ、エイズ及びHIV感染症に対する正しい知識の普及啓発が必要なため、事業を継続する。</p>